

Marpサンプル

概要

Marpというツールを試す

- Markdown形式でスライドを作れる
- VSCodeに拡張があるので、同じく拡張機能が提供されているGraphvizと組み合わせて遊ぶ



Marp

Markdown Presentation Ecosystem

Get started!

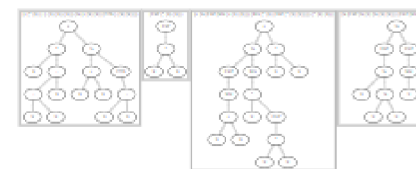
Find out Marp tools at GitHub...



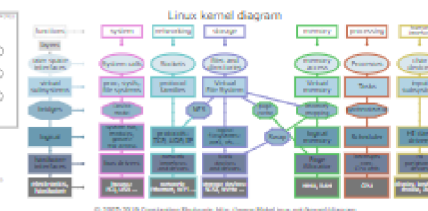
Graphviz - Graph Visualization Software

Gallery

Math Parse Tree



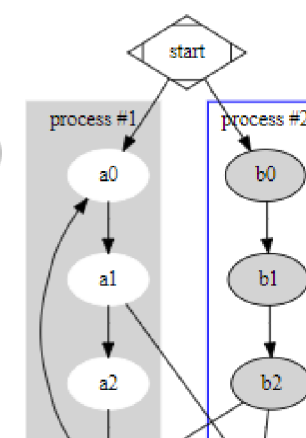
Linux Kernel Diagram

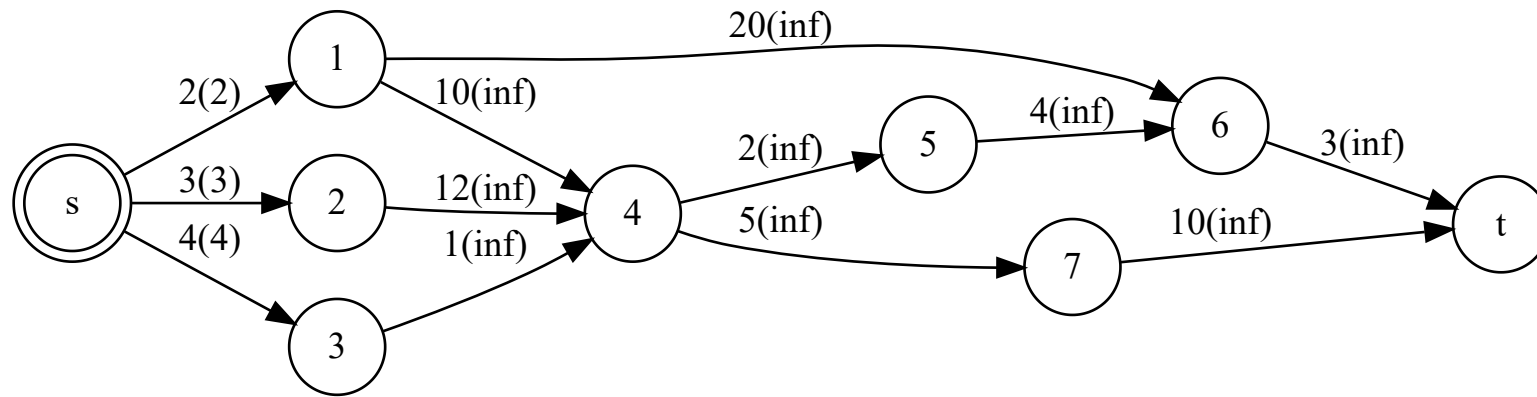


Bazel Build System



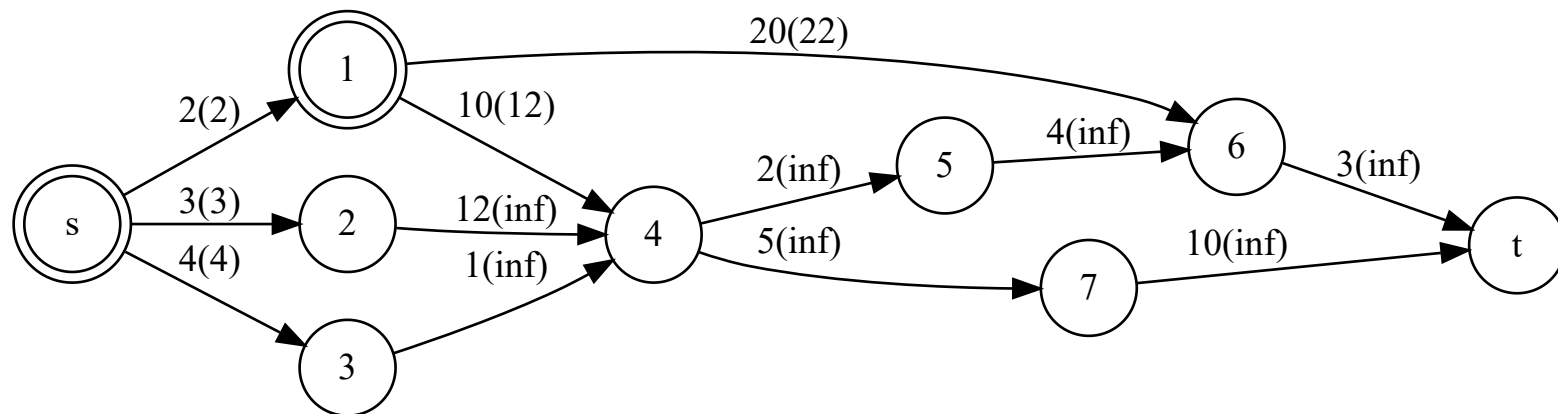
Clusters





(2, 1) (3, 2) (4, 3)

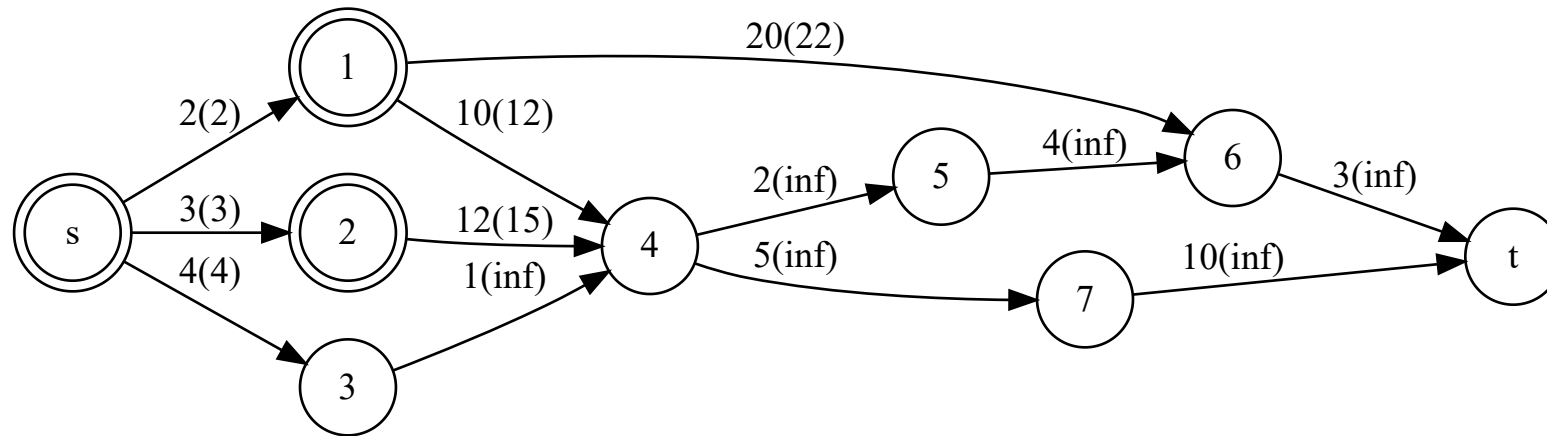
<----- priority_queue(cost, to) ----->



(3, 2) (4, 3) (12, 4) (22, 6)

<-----

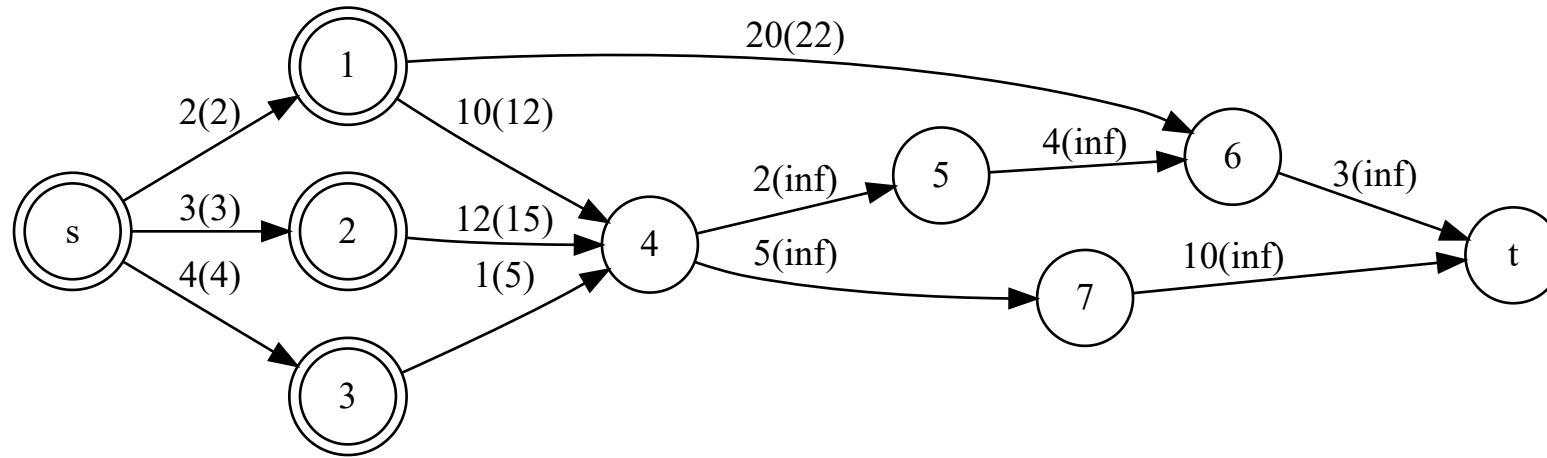
priority_queue(cost, to)



(4, 3) (12, 4) (15, 4) (22, 6)

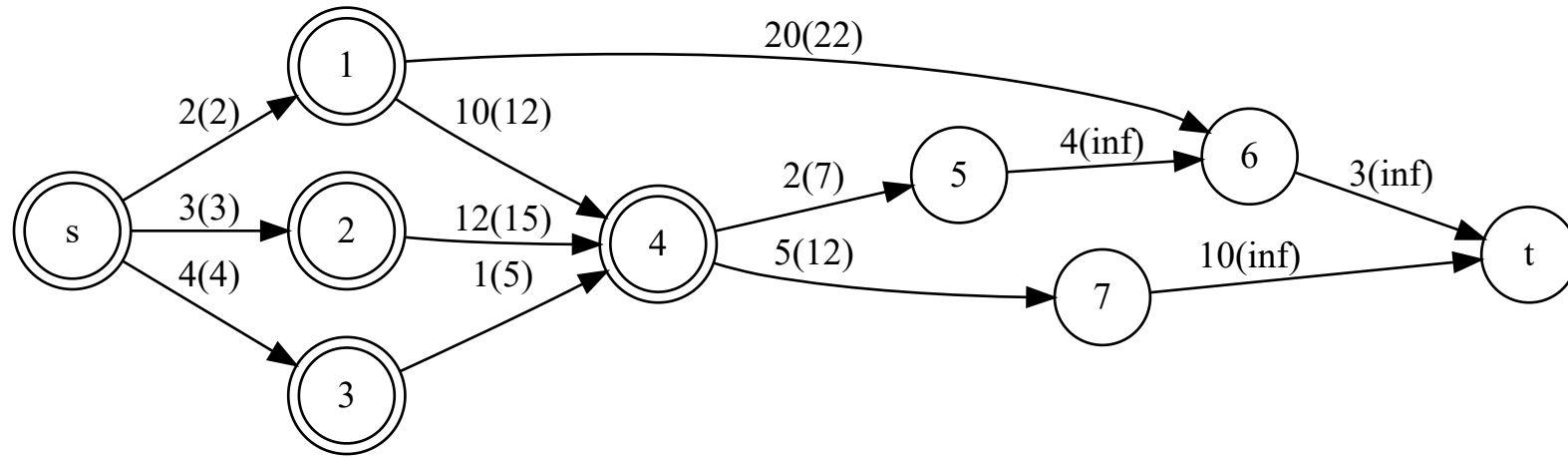
<-----

priority_queue(cost, to)



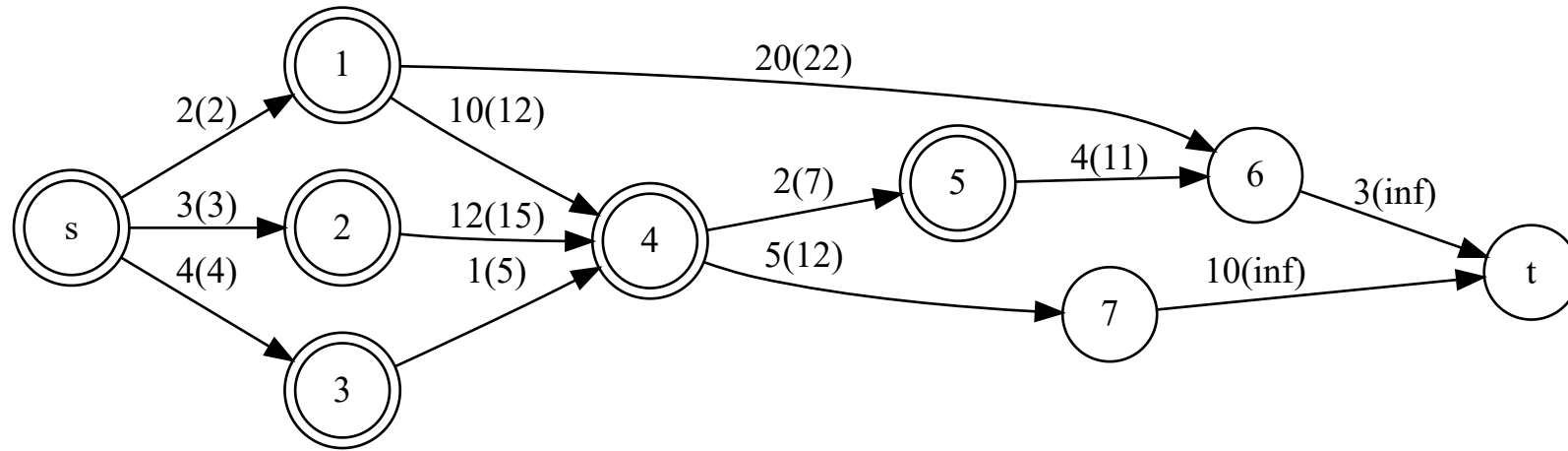
(5, 4) (12, 4) (15, 4) (22, 6)

<----- priority_queue(cost, to) ----->



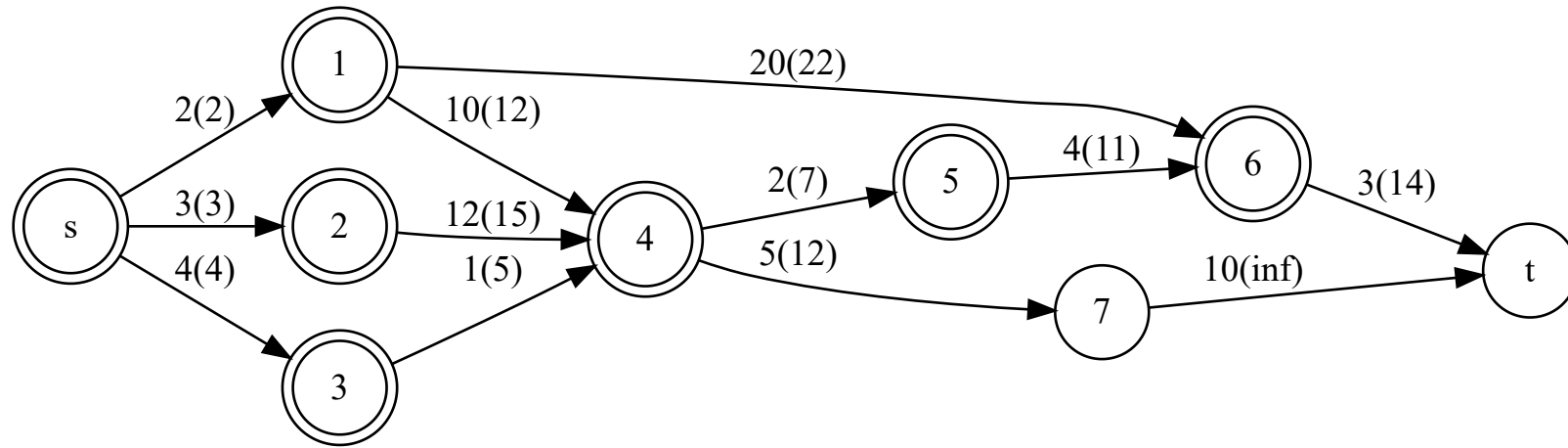
$(7, 5) \quad (12, 4) \quad (12, 7) \quad (15, 4) \quad (22, 6)$

$< \text{-----} \quad \text{priority_queue(cost, to)} \quad \text{-----}$



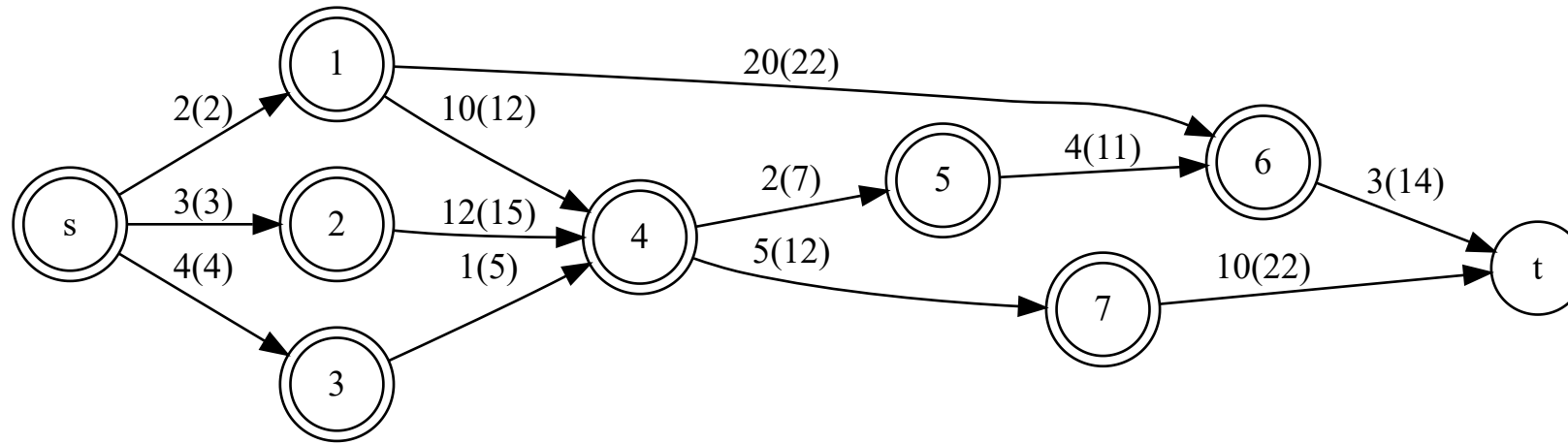
$(11, 6)$ $(12, 4)$ $(12, 7)$ $(15, 4)$ $(22, 6)$

$< \text{-----} \quad \text{priority_queue}(\text{cost}, \text{to}) \quad \text{-----}$



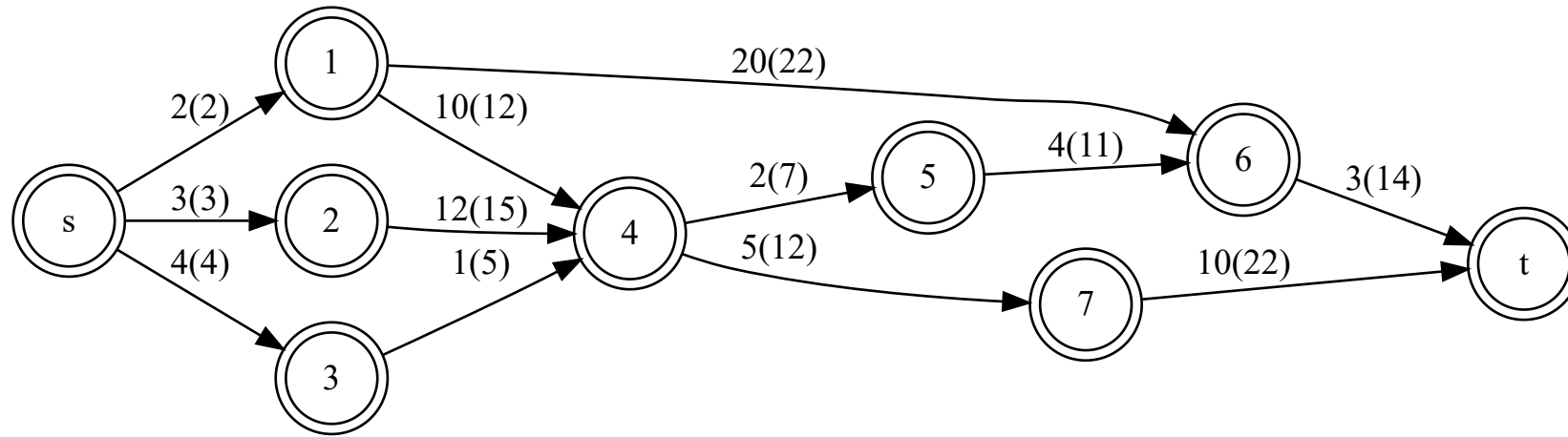
(12, 4) (12, 7) (14, t) (15, 4) (22, 6)

<----- priority_queue(cost, to) ----->



(14, t) (15, 4) (22, 6) (22, t)

<----- priority_queue(cost, to) ----->



(15, 4) (22, 6) (22, t)

<----- priority_queue(cost, to) ----->

所感

VSCode上で完結する(一番の利点)

もちろん微調整が必要な場合はGUIのほうが良いと思う

形式言語で書けると少しずつ差分がある複数の図を書くのに便利

Kroki.ioというツールもあったがこれは毎変更ごとに生成されるURLが変わるので少し違う気がした

Draw.ioをVSCode上でやるのは結局PowerPointをいじっているのと同じな気がする
ただしDraw.ioのほうが手に馴染んでいる場合は別

所感

今回使っていないもの

- 数式

$$\sum_{x=1}^n \sum_{y=1}^x f(x, y)$$

- コード

```
int hoge = 100;
```

- css, フォントなど

所感

今はVSCode上で色々と切るようになってきているので、どちらかというと様々な素材を統合して身内向けの共有、勉強会スライド等を手軽に作るのがよさそう

Marpに慣れるまでは手軽さよりもどかしさの方が大きい気がするが、MarkdownやCSSに慣れている場合は学習コストが低くできそう

上手く使えれば外部のデザインソフトなどでfixされた画像 + 形式言語によるシステム構成図, シーケンス図みたいな資料が作れるかも